

ほんわ館だより

令和7年5月発行
第152号

中山町立図書館
開館 9:00～19:00
休館日 5/6.12.19.26

おしらせ

5月11日(日)春の本フェスが開催されます

『スペシャルおはなし会』『本の世界の料理教室Part9』『ワークショップ』など楽しいイベントが盛りだくさん!!詳しい内容は館内ポスター、チラシ、ほんわ館ホームページをご覧ください。乞うご期待!!

★今月のおはなし会★

5月17日(土)11:00～
ほんわ館 多目的室

5月にぴったりの本を読みます♪ほんわかつば一座が待ってるよ!



5月の展示コーナー

★おすすめコーナー

『アウトドア』

★児童書コーナー

- ・絵本コーナー 『おでかけしたいな』『めがでてふくらんで』
- ・円形コーナー 『個性を大切に』
- ・空中図書コーナー 『やさい』
- ・小学生おすすめコーナー 『社会見学』

★2階掲示板

『本で旅をしよう』



新しい雑誌が入りました



『やさい畑』
家の光協会

どうぞご利用ください♪

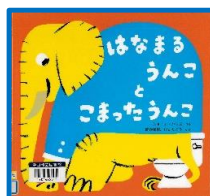
新着 最近入った本を紹介します

※ここに紹介した他にもたくさん入っています

【児童書(えほん)】



◀『しろとくろ』
新井 洋行 /作・絵
岩崎書店



◀『はなまるうんこ
こまったうんこ』
ショーン・ハリス/さく
聞かせ屋。けいたろう
/やく
イマジネーション・プラス



◀『ぼくのおかあさん』2
ねん1くみ すぎした
げんき』
川之上 英子・健/文
大島 妙子/絵
アリス館

【寄贈・郷土DVD】タイトル	企画・制作	【児童書】書名	編著者名
『交通指導員 好ちゃん』	ふるさと映像 残し隊	『5分後に意外な結末QUIZ』	井口 透/編著
『八坂神社の倭舞』		『やなやつ改造計画』	吉野 万理子/著
【文芸書】書名	編著者名	『カフェ・スノードーム』	石井 睦美/文
『ミアキス・シンフォニー』	加藤 シゲアキ/著	『ショコラ・アソート』	村上 雅郁/作
『美しい人 佐多稲子の昭和』	佐久間 文子/著	『こてんちゃんがきた!』	いとう みく/作
『遊園地ぐるぐるめ』	青山 美智子/著	【教養書】書名	編著者名
『世界99』(上・下)	村田 沙耶香/著	『図書館のゆるゆる人生質問箱』	斜里町立図書館/著
『高宮麻綾の引継書』	城戸川 りょう/著	『黒部源流山小屋料理人』	やまと けいこ/著
『腕が鳴る』	桂 望実/著	『子どもがサッカーを始めたら読む本』	土屋 雅史/著
『春立つ風』(弥勒シリーズ'13)	あさの あつこ/著	『足が速くなる解剖図鑑』	高林 孝光/著
『歌舞伎町ララバイ』	染井 為人/著	『テレビプロデューサーひそひそ日記』	北 慎二/著
『人よ、花よ、』(上・下)	今村 翔吾/著	『終活やーめた。』	泉 ピン子/著
『亡霊の鳥』(八咫鳥シリーズ'2-5)	阿部 智里/著	『すごい補助金&助成金のもらい方』	石渡 浩・宗像 瞳/著
『わかれ縁』(狸穴屋お始末日記1)	西條 奈加/著	『子どもの話をちゃんと聴く。』	辰 由加/著



本の歳時記



— お仕事小説 —

社会人になれば思ってもいなかった現実に直面することがあります。「働くって何？」と仕事が嫌になるときがあるかもしれません。そんなとき手に取ってほしい小説を紹介します。



『タクジョ!』

小野寺史宜/著 実業之日本社

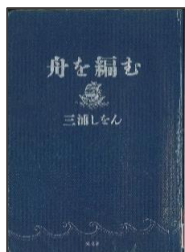
タクシードライバーとして頑張る新卒の夏子。個性あふれる先輩や同期そして家族に励まされながら、仕事に恋に、全力で走り回る姿を温かく軽快に描いています。お客様を乗せるだけでなく、人生を運ぶ物語です。



『高宮麻綾の引継書』

城戸川 りょう/著 文藝春秋

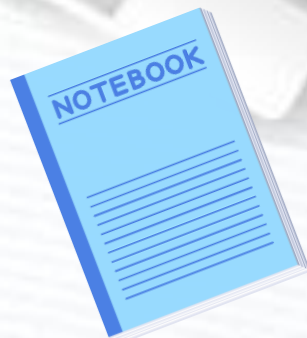
入社3年目の主人公・高宮は、新事業を立ち上げる企画を提案して優勝を手にする。優勝すれば事業化が約束されていたはずがなぜか潰れてしまう。そこからの高宮の奮闘ぶりが鮮やかに描かれています。背景にはミステリー要素もあって作品に重厚さを添えています。本作では仕事の面白さを描きたかったという山形出身の著者、今後の活躍から目が離せません。



『舟を編む』

三浦しをん/著 光文社

異動先の辞書編集部で、人付き合いが苦手な馬締が会う個性的な人たち。言葉の海へと舟を漕ぎだして荒波の中で出会ったものとは？時代の流れとともに言葉は変化していきますが改めて言葉の美しさを感じさせてくれます。



ほんわ館で読まれています

『逃亡者は北へ向かう』

柚月裕子//著 新潮社



3月の東北。震災直後に殺人を犯してしまった真柴亮は、一通の手紙を手にも北へ向かう途中、家族とはぐれた子供と出会う。一方、刑事の陣内康介は、津波で娘を失いながらも真柴を追いかける。

『初瀬屋の客』

西條奈加//著 文藝春秋



離婚調停のスペシャリストたちが営む公事宿「狸穴屋」。自らも亭主に三行半を突きつけた絵乃が立ち向かう、次なる難題は…？江戸人情ものがたり。

『猫の刻参り』

宮部みゆき//著 新潮社



江戸は三島屋の次男坊富次郎は、変わり百物語の二代目聞き手。数奇な身の上話を聞き捨て、一話ごとに墨絵にしている。一方、兄・伊一郎の縁談を巡って、三島屋は大騒動に巻き込まれてしまう…。

『PRIZE』

村山由佳//著 文藝春秋



天羽カインは憤怒の炎に燃えていた。本を出せばベストセラー、映像化作品多数、本屋大賞にも輝いた。なのに、直木賞が取れない。文壇から正当に評価されない。何としてでも、認めさせてやる…。